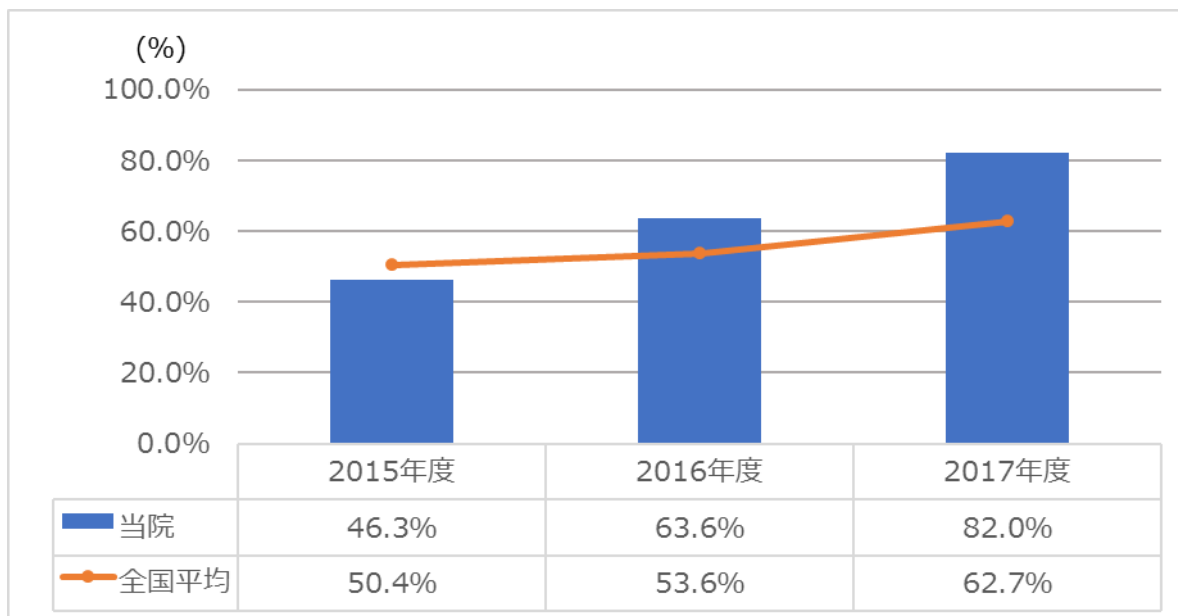


## 指標 16 糖尿病教育入院における強化インスリン療法実施割合



### <定義>

分子	： 分母のうち、強化インスリン療法を行った症例
分母	： 糖尿病の教育入院のために入院した症例
期間	： 2015年度～2017年度（1年毎に集計）
対象	： 上記期間の退院患者
値の解釈	： 高い方が望ましい

### <解説>

強化インスリン療法は、毎食前に速効型のインスリンを注射し、血中のインスリンを健康者と同じパターンに近づける治療法です。外からインスリンを補い弱った膵臓を休ませることで、早期の糖尿病の患者さんなど膵臓のインスリン分泌機能の回復が期待できます。ただし、この療法が適応とならない症例もあります。

※ 本データは厚生労働省提出用のDPCデータを基に作成されています。また、全国平均の値については、当院が参加している「医療の質と経済性に関する実態調査【京都大学大学院QIP事業】」における「医療の質の指標」の計測結果（事業に参加する全国の病院の平均値）を用いています。

#### 【参考URL】

<http://www.kch.kagoshima.jp/about/qip.html>（当院のQIP参加について）

<http://med-econ.umin.ac.jp/QIP/CI.html>（QIPにおける計測結果）